



「笑顔いっぱい・みんな元気です！！成人式（H22.1.10）」

議会だより

にらさき

旧ルネスの土地建物購入費を議決 … P2

議員定数調査特別委員会を設置 …… P5

ここが聞きたい（一般質問） …… P6

第143号

2010年2月

12月定例会は、

3日から21日までの19日間の会期で開催しました。

条例の改正、補正予算、旧ルネスの土地建物取得など21議案を審議し、すべて可決しました。

一般質問は、9議員が登壇し市政について市長の考えをたしました。

旧ルネスの土地建物 を取得する予算及び財産取得案件を 原案どおり可決 「取得価格5億4,577万5千円」

旧ルネスの土地建物について、これまでの市民アンケートなどの結果（市で購入し、既存の施設を改修して利用する、の意見が多数。）を踏まえた中で、不動産鑑定士による鑑定価格を基に市が算出した購入費について、市長から補正予算案の提出があり、財務常任委員会（正副議長、議会選出監査委員を除く17名で構成）に付託され慎重に審査されました。

採決にあたっては、異議ありとの声がありましたが、起立採決の結果、賛成9名、反対7名により可決すべきものと決しました。また、本会議では、賛成12名、反対7名により原案どおり可決しました。

「土地及び建物の取得」議案についても、起立採決の結果、賛成12名、反対7名により原案どおり可決しました。

（賛成議員） 西野賢一 小林伸吉 森本由美子 横森宏尹 野口紘明 藤嶋英毅
嶋津鈴子 望月正澄 石井錦一 矢崎六彦 清水一 土屋泰一

（反対議員） 山本雄次 奥石賢一 秋山泉 岩下良一 清水正雄 小林恵理子 神田明弘

【土 地】

地 積 6,882.96㎡
取得価格 4億3,500万円
（鑑定評価額 4億3,500万円）
所 有 者 葦崎ショッピングセンター協同組合
代 表 理 事 小野 富義
峡北商業開発株式会社
代表取締役 清水 勝仁

【建 物】

床 面 積 19,788.28㎡
取得価格 1億1,077万5千円
（鑑定評価額 10億5,500万円）
所 有 者 葦崎ショッピングセンター協同組合
代 表 理 事 小野 富義
峡北商業開発株式会社
代表取締役 清水 勝仁

※本会議、財務常任委員会における質疑の内容については、4頁を参照してください。

【補正予算】

財務常任委員会で審査された後、本会議で可決

●一般会計補正予算（第4号）

《補正予算額》 7億6,295万2千円の増額
（仮称）韮崎市民交流センター整備事業
5億8,160万7千円
予防接種事業 1,737万6千円 等

●国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

《補正予算額》 1,274万5千円の増額
国保事業基金積立金の増等による

●後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 1,607万2千円の増額
広域連合派遣職員人件費、高齢者健診事業の
一般会計からの予算組み替え等

●老人保健特別会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 1,467万3千円の減額
診療報酬支払額の減等による

●下水道事業特別会計補正予算（第3号）

《補正予算額》 1,884万3千円の減額
流域下水道維持管理負担金の減等による

●介護保険特別会計補正予算（第2号）

《補正予算額》 9,163万円の増額
居宅介護サービス給付費支払見込みの増等による

●介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）

《補正予算額》 274万円の減額
非常勤職員賃金の一般会計への予算組み替え等

●市立病院事業会計補正予算（第3号）

《補正予算額》
病院事業収益 1,956万円の減額
資本金収入 34万1千円の増額

●水道事業会計補正予算（第3号）

《補正予算額》
水道事業収益 56万5千円の増額

【条例改正】

◆韮崎市消防団員等公務災害補償条例

消防法の一部改正により、傷病者の輸送及び受け入れの実施基準を定めるなどの改正を行いました。

◆韮崎市違法駐車等の防止に関する条例

道路交通法の改正により、高齢運転者等に限って駐車できる区間が新設されたことに伴い、本条例の違法駐車等の定義を整理しました。

【規約の変更】

◆山梨県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び山梨県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約

平成22年3月に増穂町及び鰍沢町が富士川町となることに伴う変更。

【指定管理者の指定】

◆韮崎市ふれあい健康センター及び道の駅

名称 (株)キッツウエルネス（千葉市）
（引き続き指定）

指定期間 平成22年4月1日

～平成25年3月31日

◆韮崎駅前広場市民駐車場及び本町ふれあい広場市民駐車場

（新規に指定管理者制度を導入）
名称 (株)サニカ（南アルプス市）

指定期間 平成22年4月1日

～平成27年3月31日

請願

採択

☆オバマ米大統領の「核兵器のない世界」の実現のよびかけに
応えて日本政府に、
被爆国としてその実
現のためイニシアチ
ブを発揮することの
意見書を求める請願

（提出者）

進歩と革新をめざす
韮崎の会代表世話人

渡辺吉基さん

〈国への意見書〉

「核兵器廃絶の国際条
約締結に向けて、積極
的な働きかけを求める
意見書」

採択

☆こどもたちの生命を
守るため、ヒブワク
チン及び肺炎球菌
ワクチンの公費助
成、定期接種化を求
める意見書の提出
を求める請願

（提出者）

韮崎市穴山町
島津祐子さん

〈国への意見書〉

「子どもたちの生命を
守るため、ヒブワクチ
ン及び肺炎球菌ワクチ
ンの公費助成、定期接
種化を求める意見書」

来年予定されている
核不拡散再検討会議に
おいて、2000年に
合意された核兵器廃絶
の履行に向けた主導的
な役割を果たすことに
、核兵器廃絶の国際
条約締結を目指した国
際交渉の開始に向けて
積極的な働きかけをす
るよう求める。

旧ルネス跡地取得の予算、土地建物取得議案に 対する質疑の内容（本会議、財務常任委員会）

補正予算額の内容

【総 額】	5億8,160万7千円 (土地建物取得費5億4,577万5千円+設計委託料3,583万2千円)
【財 源】	国庫支出金 3億円(まちづくり交付金)
	繰 入 金 2億5,000万円(市立図書館整備基金繰入金)
	一 般 財 源 3,160万7千円

《12月16日》

財務常任委員会

問 議会の意見をしっかりと受け止め尊重するということが本格的な交渉はこれからという理解でいいか。

答 そのとおりである。

問 元ルネスの建物は解体するからその跡地を買ってこれというのが売り手側の要望だった。それを1億円で購入するということは、市民は納得しない。これから交渉で安くなるといふことも視野に入っているか。

答 経済行為の交渉事なので、やってみなければわからない。

問 土地建物を購入してはだめだということではなく、市で買って活用するのは賛成だが、建物の取得価格については、もう一度勘案すべき。

答 5億4千万円という金額は、色々と知恵を絞る様々なことを勘案しながら、本来あるべき不動産評価額をベースにしながら、残存価格の1割で交渉できないかという選択であるので、理解願いたい。

問 鑑定価格で買うということとは、一番公平な方法ではないかと思うが、議会の側がどう

のように理解したと受け止めているか。

答 従前からこういった不動産の売買については、行政のルール、スタンダードな部分で鑑定価格を基準にすると言ってきたので、一番公平公正な判断基準だと受け止めている。従前の取引、売買などで、そういったことを経験してきた議員も多数いるので、お互い議会の同じテーブルに立って、そこからスタートしているというふうに理解している。

問 9月議会において、特別委員会の中で、建物については無償で譲渡してもらおうかという意見を出したが、そういう形で進んでいないという議会側の意見があるが、どう考えるか。

答 そういう意見を十分尊重した中で、鑑定価格の1割で交渉しようということになった。

問 建物の鑑定評価額の1割で買うという根拠は。

答 無償という提言に限りなく近づけられるということと、残存価格の1割という法的な根拠から、最低限のラインとして1割という設定をした。

問 不動産鑑定が1社だけだが、それでいいのか。

答 それぞれ独立したライセンスを持った方が鑑定をするので、これまでも、不動産鑑定を複数に頼んだ経緯は当市ではない。

《12月21日》

本 会 議

問 以前、価格の問題は、最後の重要な問題であり、市民の納得を得るよう臨まなければならないと言った経過がある。しかし残念ながらそういう事態にはなっていない。まちづくり交付金が3億円というが、今この問題を巡って事態は3億円の問題ではすまないような深刻な問題になっていると思うが。

答 価格については、従前から不動産鑑定士による鑑定価格をもとにと言ってきた。最終的な価格の設定については、土地については評価額、建物については残存価格の1割という、明確な基準に基づいて設定した。

問 予算成立以降の交渉経過を聞き、その努力は評価するところだが、交渉の結果が全く相手方が譲らなかつたことについて、非常に残念に思う。相手方の立場だけが尊重されただけではないのか。

答 それぞれの立場の中で、

意見を主張し交渉を重ねた結果、最終的な合意点になったという理解をしている。

問 今議会で可決しなければ、まちづくり交付金は使えないということか。3月までであれば使えるというように理解してよいのか。

答 県及び国土交通省との協議の中で、市としてこの事業をまちづくり交付金対象事業として、前倒しをして採択していただいた経過があるので、できるだけ早くということでも今回提案した。

問 今是不動産市場は、売り手市場ではなく買い手市場であり、仮に鑑定価格がでようがその金額から安く買うことは当然なことであるが、交渉にあたって、その辺の認識はあったのかどうか。

答 公が不動産を取得する場合、市民にその根拠を示さなければいけないと思う。市民の取引のように安くしろというだけではない。それには資格をもった不動産鑑定士に鑑定をお願いした上で、その鑑定価格を参考にしながら、土地については鑑定価格で、建物については鑑定価格の1割に落としてという経過がある。公としては、市民に対して一番説明できる内容ではないかと考えている。

第2回

臨時会

(平成21年11月17日～11月20日)

【議会選出監査委員に望月正澄議員を選任】

石井錦一議員の辞任に伴い、後任者の選任について、市長から議会の同意を求める議案が提出され、望月正澄議員を選任することに同意しました。

【常任委員会等の新委員構成（任期1年）】

【広域議員】

■総務教育常任委員会（7名） 政策秘書課・総務課・企画財政課・会計課・議会事務局及び教育委員会の所管する事項並びに他の委員会に属さない事項 委員長 森本由美子 副委員長 山本 雄次 委員 神田 明弘 矢崎 六彦 一木 長博 藤嶋 英毅 奥石 賢一	■市民生活常任委員会（7名） 市民課・税務課・収納課・福祉課・保健課・静心寮及び市立病院の所管する事項 委員長 清水 正雄 副委員長 岩下 良一 委員 土屋 泰一 望月 正澄 嶋津 鈴子 野口 紘明 秋山 泉	■峡北広域行政事務組合議員 清水 一 矢崎 六彦 横森 宏尹 岩下 良一 奥石 賢一 小林 伸吉
■産業建設常任委員会（6名） 農林課・企業立地課・商工観光課・建設課・及び上下水道課の所管する事項 委員長 横森 宏尹 副委員長 小林 伸吉 委員 清水 一 小林恵理子 石井 錦一 西野 賢一	■財務常任委員会（17名） （正副議長、監査委員を除く全議員） 予算および決算に関する事項 委員長 石井 錦一 副委員長 森本由美子	■峡北地域広域水道企業団議員 神田 明弘 石井 錦一 望月 正澄 嶋津 鈴子
■議会運営委員会（7名） 議会運営及び議長の諮問に関する事項 委員長 野口 紘明 副委員長 奥石 賢一 委員 土屋 泰一 神田 明弘 矢崎 六彦 清水 正雄 望月 正澄		■山梨県後期高齢者医療広域連合議員 清水 正雄

【条例改正】

◆**韮崎市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例**
延滞金額に100円未満の端数がある場合に端数金額を切り捨てるなど、端数計算方法を改正しました。

第3回

臨時会

(平成21年11月30日)

「議員定数」調査 特別委員会を設置

市議会の適正な議員定数について、調査研究するため調査特別委員会を設置しました。

《名称》 韮崎市議会議員定数調査
特別委員会《委員10名》

委員長 土屋 泰一
副委員長 森本由美子
委員 矢崎 六彦 小林恵理子
望月 正澄 藤嶋 英毅
野口 紘明 横森 宏尹
奥石 賢一 山本 雄次

「議員提案により、 期末手当を引下げ」

景気悪化に伴う市税収入の伸び悩みに
よる厳しい財政運営等を考慮し、議員報酬の期末手当について、0・25ヵ月分引下げることとしました。

「条例の一部改正」

◆市長等及び教育長の給与条例

民間給与との格差及び社会経済情勢を考慮し、市長、副市長、教育長に支給するボーナス（期末・勤勉手当）について、0・35ヵ月分引下げることとしました。

◆職員給与条例

民間給与との格差及び社会経済情勢を考慮し、若年層及び医療職の一部を除き、職員給与の月額を平均0・2%引下げ、ボーナス（期末・勤勉手当）については、全職員0・35ヵ月分引下げることとしました。

意見書

原案可決

☆電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

（提出者）
森本由美子議員
ほか5名

平成22年度末をもって、本市を含む多くの関係市町村で交付期限を迎える電源立地地域対策交付金の「水力交付金（小武川上流施設）」について、韮崎市では、この交付金を活用し、これまで周辺地域の水路改修やポンプ小屋の整備などを行ってきた。平成23年度以降は、恒久的な制度とすることや交付条件の改善などを求める。

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、韮崎市ホームページ⇒議会⇒会議録で見ることができます。録画中継も配信しています。



野口 紘明 議員
[韮政クラブ]

その他質問

- ◆新型インフルエンザ対策について
- ◆健康づくり推進について
- ◆道路整備について
- ◆甘利山クリーン大作戦について

22年度当初予算は

議員 予算編成にあたり何を基本方針とするのか。

市長 第6次長期総合計画に掲げる10年後の韮崎市の将来を見据えた施策を着実に実行するとともに、コスト意識の徹底と、各種事業の有効性を検証した上で、より実効性の高い施策を構築することを基本方針とする。

議員 主要事業としては、具体的に何を考えているのか。

市長 (仮称) 韮崎市民交流センターを核とした中心市街地の活性化を初め、上ノ山・穂坂地区農工団地の推進による企業誘致や新エネルギー利活用推進モデル事業などのほか、重点課題である経済・雇用対策、子育て・教育支援等への効率的な予算配分に努める。

旧ルネスの 今後の計画は

議員 土地及び建物を取得した場合、その後の実施設計、施工期間、オープンの予定はどうなっているのか。

市長 今年度の基本設計、明年4月から7月にかけて実施設計、同年9月から平成23年5月にかけて施工し、同年7月のオープンを目指している。

議員 現在の市民会館の図書館、公民館、会議室等の施設は、すべて(仮称)市民交流センター内へ移転されるのか。

市長 市民会館内の施設機能は、すべて移転を予定している。

減災力の強化は

議員 国から新たな概

念が示された減災とは、いつ発生するかわからない自然災害に備え、被害を最小限にとどめるため、市民が平素から自助(自分や家族の安全確保)、共助(地域住民で協働して助け合う)を基本に備えや訓練をしておくものである。地域における減災力の強化が重要だと思いが、いかがか。

市長 住宅の耐震化の推進、自主防災組織の充実強化、災害シンボジウムの開催等、防災意識の高揚に努めており、さらに今年度は、地震防災マップを作成し、地震が起こった後の対策より、地震が起こる前に被害を少なくする減災対策の推進に向け、自主防災組織、NPO法人減災ネットワークやまなしとの連携強化に努め、自助、共助を強調し減災力の強化に向けた組織づくりに努めていく考えである。



西野 賢一 議員
【荏政クラブ】

その他質問

- ◆学校教育環境（給食室へのパソコン設置、IT環境）について

事業仕分けによる影響は

閤議員 国の事業仕分けにより、廃止、縮減、見直しとされた事業の本市への影響は、いかがか。

閤市長 今年度予算計上している事業において、見直しが4件、縮減が4件、地方移管が5件、廃止が4件、予算計上見送りが3件、要求どおりが1件となっている。交付税を含めた今年度の歳入予算額ベースでは、21件で23億2986万6千円が対象となっている。

エコパークたつおかの組合負担軽減を

閤議員 今後9年間の保守点検費38億円について、三井造船側が11億円、組合負担が27億円となり、当初の三井造船の提案額

より、組合負担が約6億円の削減は一定の評価はするが、もっと軽減することはできないのか。

閤市長 これまで、峡北広域行政事務組合のたび重なる交渉により、組合側の負担の軽減に最大限の努力を傾注してきた。さらなる組合側負担の軽減について、今後の覚書締結に向け、鋭意交渉を行っている。

議員 施設ができた時に、横内市長は県議時代とはいえ、現代代表理事であるので、少しでも軽減できるように努めていただきたい。

照明のLED化を

閤議員 LEDは、次世代の光源として注目され、その大きな特徴は、寿命の長さと電気代コストの安さ、またCO2の削減

である。
本市でも、23年度に計画中の図書館を中心として、点灯時間が長い防犯灯などから順次LED化を進めるべきだが、いかがか。

閤市長 来年度、省エネルギーの啓蒙を広く図るため、市庁舎照明の一部へ導入を考えており、今後はさらなる技術革新やコストダウンが見込まれることから、（仮称）葦崎市民交流センターへの導入や防犯灯の取替など、順次導入を行っていく。

防犯カメラ設置を

閤議員 葦崎駅周辺は、ライフガーデンにらさき、旧ルネスの再開発に伴い、多種多様の多くの人が集い行き来するようになる。

犯罪を起こさせないために、防犯カメラの設置をすべきと考えるが、いかがか。

閤市長 （仮称）葦崎市民交流センター施設整備を初め駅周辺の再開発計画の中に、防犯カメラの設置を位置づけていく。



輿石 賢一 議員
【共伸クラブ】

その他質問

- ◆政権交代による市への影響について
- ◆農業行政について
- ◆学校教育について
- ◆市立保育園について
- ◆市内企業への対策について

エコパークたつおか焼却場問題

閤議員 この問題については、各定例会のたびに多くの議員から質問があるが、欠陥施設を買ったうえに、保守点検費、灯油使用量などが当初に比べると、どれだけかけ離れているか。市民は納得していない。

市長は裁判も辞さないと言っていたが、日本環境衛生センターで、瑕疵の証明が難しいということとで、争うつもりはないようだが、裁判所は公平に物事を判断してくれるので負けたなら市民も納得する。今のような交渉の仕方は甘すぎるのではないかと感じている。争うところは争うべきだと考えるが、いかがか。

閤副市長 昨年12月に三井造船に対し、瑕疵ではないかというようにことを認めている、現状の説

明責任を果たせよ、という内容証明を顧問弁護士を通じて提出した。その後、三井造船側も弁護士を立て交渉を重ねてきた。顧問弁護士と打合せをする中で、民事裁判になるので、こちらが瑕疵の証明をしなければならぬということとで、日本環境衛生センターに瑕疵の証明ができるかどうか調査依頼を行ったが、結果は大変難しいということとであり、従前の保証値的な意味合いをもった、負担率が少なくなるような、総額の負担が減るような形で交渉を継続している。

閤議員 日本環境衛生センターの言葉を鵜呑みにしているだけ。灯油使用量が当初の84倍、6年間で30回も止まってしまった施設を売っている三井造船が、責任をとらないというのではないと思う。きっちり決着をつけるべきだと考えるが、いかがか。

閤市長 現実は今、焼却場が稼働していて、三井造船を切った場合に、あの施設を稼働できる業者があるのかどうかまで調査したが、キルン式の施設を完全に管理運営できる会社を見つけることはできなかった。管理運営できる会社があれば、そういうことも考えるが、裁判をし、三井造船側が運転を取りやめるということになれば、ごみがどんどん溜まっていく。このようなことを考えながら、今まで交渉などを行ってきたところである。

議員 そういう心配があるから裁判ができないというのだが、三井造船が欠陥商品売っているのは明らかであり、相手に不足はない会社である。3万2千人の市民、また北杜市や甲斐市の市民もいるので、そんなに弱腰にならない、交渉に臨んでいただきたい。



山本 雄次 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆政府の事業仕分けについて
- ◆徳島堰用水路転落防止柵について

介護施設入所者の支援対策は

副議長 認知症対応型共同生活介護施設利用者の負担について、市独自でそれ相應の生活支援助成や税の負担免除、高額療養費への支援対策などが必要だと考えるが、いかがか。

市長 居宅サービスとされる認知症対応型共同生活介護施設は、施設サービスである特別養護老人ホームと違い、制度上、食費や居住費の負担限度額の適用対象外施設である。食費と居住費の利用負担額及び療養費などを市独自で助成することとは、現在の財政状況では大変難しいと考えている。

太陽光発電設置補助の導入は

副議長 設置費の補助に

については、平成15年から17年まで、国・県・市で補助していたが、ここ数年は補助していない。環境政策に大きな効果がある太陽光発電は、家庭においても余剰電力を電力会社に売ることにも可能となり、設置世帯にとつてはまさに一石二鳥の対策である。設置費に3百50万円前後の投資が必要とされているが、来年度から設置費の補助の導入を行うのかどうか。また、国・県の補助がなくとも市単独で事業化するのかどうか。

市長 住宅用太陽光発電システムは、自然エネルギーを活用して環境保全を図る立場から、なお一層有用な手段になるものと認識しており、普及を支援すべく、補助の実施について、今後も積極的に検討していく。市単独での事業化については、国・県の動向を見きわめ

つつ、これまでの本市の補助金支給のあり方等を踏まえ、総合的に検討していく。

鳥獣害対策原材料支給を

副議長 現在設置されている柵は、今では猿には一向に効果がなく、電柵の上部にかさ上げをして通電線を増やす方法はどうかと考えるが、これまでの原材料支給では、到底無理である。

そこで、原材料支給項目の中に、かさ上げ用通電機具の支給、かさ上げ部分もしくは既存柵へのバラ線支給、通電線の再支給などが必要と考えるが、いかがか。

市長 今まで該当しなかった電気柵本体及びかさ上げ通電機具等について、来年度の原材料支給対象項目として、各地区の電気柵管理会より要望書を提出していただいたところであり、要望書を取りまとめ、効果が期待されるかさ上げ部材、バラ線及び通電線についても、原材料支給の対象として検討していく。



嶋津 鈴子 議員
[市清クラブ]

その他質問

- ◆国の政権交代に伴う施策変更がわが市に与える影響について
- ◆（仮称）葦崎市民交流センター整備事業について
- ◆市の施策（各課）の各町への事業について
- ◆タクシー券交付について

耕作放棄地対策は

副議長 耕作放棄地対策として、県の事業で菜の花プロジェクト事業がスタートした。わが市においては、3・2ha実施したようだが、申込者が5ha以上あったと聞いている。どのような条件で選定したのか。

市長 市内農地所有者から応募のあった5haの申込を県に行い、そのうち3・2haが採択されたが、最終的に条件が折り合わない箇所を除き2・5haで実施した。採択の基準は、1カ所に集積できること、農地として有効利用が見込めること、道路沿いで景観保全事業としてPRできることが優先され、県の担当者で現地を確認のうえ決定された。

副議長 この事業は、来

年度以降も実施されるのか。されないとしたら市単独でも続けていくことはできないかどうか。

農林課長 単年度事業であるが、市単独での事業継続について、今後検討する。

穴山地区の市道整備は

副議長 平成16年に旧国鉄清算事業団を経て、公社より移管された市道穴山52号線は、大型トラックが常に入りをし、未舗装の道を砂ぼこりを上げて通るため凹凸がで、近隣の住民が砂利を埋めたりして対処している。整備の見通しはいかがか。

市長 地元地区長より複数の道路改良等の要望があることから、優先順位等を協議する中で、原材料支給により道路舗装を実施することで、ご理

解いただいている。

甘利山クリーン大作戦を年2回に

副議長 甘利山と郷土を愛する人たちの手により、大作戦の名にふさわしく、多くの参加者により今年度も実施された。市長の所信表明でも継続していくとのことだが、春秋2回に分けての実施はいかがか。

市長 昨年より、官民協働によるクリーン大作戦を実施しているが、秋のシーズンに集中して草刈を実施することは、翌年のレンゲツツジの開花に多大な好影響を与えることに加え、多種多様な高山植物の育成につながるなどの理由からであり、引き続き、甘利山倶楽部等々と連携強化を図りながら、当面秋を中心に保全活動に努めていく。



小林恵理子 議員
【日本共産党市議会団】

その他質問

- ◆後期高齢者医療制度の廃止問題について
- ◆認可保育所の最低基準の改悪について
- ◆子ども、若者育成支援推進法に基づく施策について

雇用対策、市の直接雇用を

議員 深刻な雇用状況に対し、地方自治体での対策も欠かせない。
市の直接雇用を、さらに増やしていくことなどが必要と考えるが、見解は。

市長 今年度、市では緊急雇用創出事業などを活用して、35名の雇用を創出してきたところである。年末に向けてさらなる直接雇用は極めて困難であるが、実習型雇用支援事業など、国の新たな事業主への助成制度により、雇用の拡大が図られるものと考えている。

子育て支援センターの充実を

議員 藤井保育園内に併設の地域子育て支援センターは、年間延べ6千人以上が利用している。

旧ルネスを活用する市市民交流センターマスタープランで、子育て支援コーナーが計画されているが、子育て支援センターを市内2カ所以上に増やし、事業費、職員の充実を図るべきと考えるが、見解は。

市長 地域子育て支援センター機能は、市内4カ所に設置した児童センターでも担っており、専門職員による子育て支援業務を毎日行っている。また、現在藤井保育園に併設の子育て支援センターを駅前計画中の市市民交流センターに移転し、面積の大幅な拡大、内容の充実を図る予定である。

国保税減免制度対象の拡大が必要

議員 市は、市失業者にかかわる国民健康保険税減免要綱をつくり

実施している。趣旨は、不況で職を失った人に対する救済措置であるが、不況の影響で業績が悪化し、再雇用されなかった期間雇用の労働者は対象外となっている。こうした人たちが減免制度の適用にすべきと考えるが、見解は。

市長 現在の厳しい経済情勢下において、非自発的に失業及び倒産に至ってしまった国保被保険者が、安心して市民生活を送れるよう、またこれらの事情による滞納を回避することを目的としており、本制度の趣旨またご本人の雇用者側との契約要件等を考え合わせると、認定は困難であると考えている。

なお、これらの方々に、国で来年度より軽減措置を講ずるとの情報を得ているので、それらにより救済できるものと考えている。



神田 明弘 議員
【日本共産党市議会団】

その他質問

- ◆人権無視の異常な「地方税滞納整理推進機構」の差し押さえ問題について
- ◆生活保護行政について
- ◆市営住宅の保証人問題について
- ◆雇用促進住宅の譲渡問題について

旧ルネスの建物購入価格について

議員 旧ルネスの跡地に関する市民アンケートでは、建物付きの購入の意見が多数を占めたが、これは市の財政面や在るものを利用すべきという省資源対策から出されている意見であると考えている。
建物購入価格1億1千万円は、こうした市民の声にこたえるものとして、また市民が納得するものとして考えているのかどうか、見解は。

市長 既存建物を有効活用することにより、市民ニーズを反映した図書館を核とする市市民交流センターの整備が可能であり、総事業費の低コスト化からも鑑定評価額の1割での取得は、市民の声に十分こたえるものと考えている。

ライフガーデンにさきの波及効果は

議員 ライフガーデンがオープンし半年が過ぎた。市はこの施設について、既存商店街への波及効果をもたらすと言ってきたが、実際にはそうならず商店街はますます深刻な事態になっている。商業関係者の中には、ライフガーデンによって商店街は壊滅の危機に直面している、と言う市民もいる。市はライフガーデンの波及効果についてどのように考えているのか。

市長 昨年来からの景気低迷に伴い、個人経営については依然厳しい状況であると認識している。駅前大型商業施設が消費者の利便性を高め、一定の集客力を発揮し、地域外消費の抑制に寄与しているため、現在その

市営墓地の増設を

議員 市民から市営墓地の新たな増設の要望がでている。造成は近隣住民の同意など周りの環境に配慮して行う必要があるが、墓地需要への対応を図るため、市民ニーズを把握し市営墓地の増設を検討すべきと考えるが、見解は。

市長 現在、富士見ヶ丘地区に701区画、北下条地区に38区画の計739区画あるが、空きのない状態である。今後、墓地の需要が高まることから予想されるため、新たに富士見ヶ丘地区の市営墓地の隣接地に増設を図るべく、土地購入に向け地権者と交渉を行っているところである。



小林 伸吉 議員
【公明党】

その他質問

◆温室効果ガスの削減について

市民バスについて

副議長 玄関先から玄関先へと送迎するシステム、市民バスのデマンド交通方式は、身延町や増穂町、北杜市で試行運転を開始した。高齢化が進む市民の足として、デマンド方式に対する本市の調査状況と今後の計画は。

副議長 公共交通に対する市民アンケートや定点ヒアリング調査を実施し、市民ニーズと利用実態の把握を行ってきており、今後については、近隣自治体の実証実験結果等の調査、研究を行っていく。

副議長 実態調査により、通勤通学、部活動、買物などの目的に合わせた時

間設定が望まれているとの結果が出ており、今後、利用者層ごとのニーズを把握し、デマンドバス等様々な運行形態との組み合わせによる新交通システムの調査、研究を行っていく。

障害者用などのトイレ設置を

副議長 旧ルネスの活用について検討されているが、(仮称)韮崎市民交流センターは、ユニバーサルデザインによる改修設計が計画されていると聞いている。

駅に近く、公共施設になる予定の同センターに身体障害者用と赤ちゃんのおむつ交換ができる、オストメイトトイレなどを設置すべきと考えるが、計画は。

副議長 マスタープランに基づき、高齢者から乳

幼児、障害者に至るまで、市民の誰もが安心して利用できるよう配慮していく。

小学校の洋式トイレの増を

副議長 北東小学校の保護者から、洋式トイレの数を増やして欲しいという声がある。全国的にも、各トイレの半数近くが洋式とのことであり、洋式トイレをもう1カ所増やすことを提案するが、いかがか。

副議長 現在、北東小学校にはトイレが4カ所あり、男女各トイレに1カ所洋便器を設置している。この配置は、市内他校と同等程度の設置である。近年、家庭のトイレが洋式化しており、学校のトイレに洋式化を望む声も若干ではあるが寄せられている。一方で、不特定多数が使用する便器について、直接肌が触れることを厭う子どももあり、また学校で和式の経験が必要との意見もある。今後、改修計画等がある場合には、洋便器への増設について検討していく。



森本由美子 議員
【公明党】

その他質問

◆(仮称)市民交流センターでの介護予防について

学校行政について

副議長 特別支援教育の支援スタッフとして、市単独で6名を配置しているが、支援を必要とする児童・生徒数からするとまだ不足しているような状況が見られる。さらにきめ細かい配置が必要と考えるが、明年度の配置方針は。

副議長 特別支援の加配を県に引き続き要請するとともに、必要な支援スタッフの配置を行い、きめ細かな指導を行っていく。

副議長 少人数学級の拡大への取り組みは。

副議長 順次、周りの状況等、また財政等を見きわめながら判断していく。

副議長 情報通信技術を学校に取り入れ、わかり

やすい魅力ある授業の実現や情報活用能力を育成するICT環境の整備状況は。

副議長 パソコン教室については、児童・生徒に一人1台のパソコンが整備されている。また、全ての教室に校内LANの整備が終了し、校務用パソコンについては、本年度中に全ての教員に一人1台整備される。また、テレビのデジタル化は、来年度整備する予定であり、今後は、各学校の通信環境の整備等について検討を行う。

ワクチン接種の助成拡大を

副議長 新型インフルエンザは、中学生も集団感染しやすい環境にあり、3年生は受験も控えている。接種の推進及び、家計の負担軽減のためにも、中学3年生まで、助成の

拡大をすべきと考えるが、いかがか。

副議長 助成対象者を決定するにあたり、医療関係者を交え検討を重ねたが、基礎疾患を持つ生徒を除けば、健康な中学生の入院発生率、重症化率は極端に低くなっていること等を考慮し、罹患率の高い満1歳から小学校6年生までとしたところであるのでご理解願いたい。

副議長 集団接種の年齢拡大を望むが、いかがか。

副議長 特に重症化しやすい1歳から小学校3年生までの保護者に対し、接種の機会を確保するために行ったものであり、年齢拡大は想定していない。

男性介護者へのサポートは

副議長 本市の現状とサポート体制は。

副議長 613件中119人の19.4%が男性介護者であり、サポートの必要性が高まっていることから、随時個別相談を行っている。さらに今年度男性介護者を対象とした教室を開催する。

委員会活動報告

総務教育常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

・オバマ米大統領の「核兵器のない世界」の実現のよびかけに応じて日本政府に、被爆国としてその実現のためイニシアチブを発揮することの意見書を求める請願

↓ 採決の結果、採択すべきと決定

《その他審査内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・職員の採用、定員適正化計画について
- ・職員のメンタルヘルスについて
- ・まちづくり懇談会について
- ・市民バスについて
- ・行政評価システムについて
- ・工事の検査について
- ・学校教育について

市民生活常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

・子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書の提出を求める請願

↓ 採決の結果、採択すべきと決定

《その他審査内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・資源リサイクルについて
- ・国民健康保険税について
- ・新型インフルエンザについて
- ・子宮がん検診等無料クーポン券について
- ・子育て支援センターについて
- ・保育園統合について
- ・差し押さえ処分について

〔現地調査（閉会中）〕

所管する施設の現状と課題について

- ・市立病院
- ・保健福祉センター
- ・葦崎東保育園
- ・葦崎児童センター
- ・市営火葬場



市立病院

産業建設常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

・日米自由貿易協定（FTA）の締結をしないことの意見書を求める請願

↓ 採決の結果、継続審査と決定

《審査内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・鳥獣害防止対策について
- ・松くい対策について
- ・緊急雇用対策について
- ・甘利山グリーンロッジについて
- ・中心市街地活性化について
- ・企業誘致について
- ・峡北地域広域水道企業団受水費について

〔現地調査（閉会中）〕

工事現場等の進捗状況について

- ・上ノ山穂坂農工団地及びアケセス道路
- ・穂坂自然公園
- ・耕作放棄地解消地
- ・茅ヶ岳エコトイレ
- ・甘利浄水場



茅ヶ岳エコトイレ



研修レポート 行政視察

■ 議会運営委員会研修

〔1月21日、静岡県菊川市〕
菊川市は、静岡県で最初に議会基本条例を制定し、議会報告会などを開催するほか、様々な議会改革に取り組んでいました。
議員定数削減の経過についても研修しました。



■ 会派研修（今年度中）

《市清クラブ》

- ・新潟県新発田市
「歩く旅のまちづくり事業について」
「駅前（大倉製紙工場跡地含む）区画整理事業について」
- ・千葉県館山市
「商業活性化の取り組みについて」

《市和クラブ》

- ・徳島県美馬市
「65歳以上のひとり暮らし世帯の見守りセンサー事業について」

■ 山梨県市議会議長会議員合同研修

2月10日、県内の市議会議員合同研修会が、300名に及ぶ参加者を得て、東京エレクトロン 葦崎文化ホールで開催されました。
森 正愛知学院大学准教授の「変わる地方議会」について、学びました。

《市清クラブ》

- ・愛知県高浜市
「介護保険における市独自サービスについて」
- ・愛知県半田市
「駅前市民交流センターについて」

《公明党》

- ・千葉県柏市
「小学校におけるICT環境（電子黒板等）の整備について」
- ・愛知県高浜市
「介護保険における市独自サービスについて」
- ・愛知県半田市
「駅前市民交流センターについて」

《共伸クラブ》

- ・静岡県牧之原市
「議会基本条例について」
- ・静岡県磐田市
「小中学校グラウンドの芝生化について」

編集後記

新年早々、全国高校サッカー選手権大会に出場した山梨学院大学附属高校が、初出場ながら優勝するという快挙に、県内が喜びのニュースに包まれました。
本市の市民であります、横森巧監督の手腕とサッカーにかける情熱に、多くの市民の皆様が感動し、夢を与えていただいたことと思います。
今後、このように明るい話題で溢れますよう、

心から願いたいと思います。
市議会だより編集委員会
委員長 一木 長博
副委員長 藤嶋 英毅
委員 森本由美子
清水 正雄
横森 宏尹
石井 錦一
野口 紘明
興石 賢一

3月 4日	開会・諸報告 市長所信表明
15日	一般質問
16日	一般質問
17日	議案審議 委員会 (午後1時00分「総務教育常任委員会」) (午後2時30分「市民生活常任委員会」) (午後4時00分「産業建設常任委員会」)
18日	財務常任委員会
19日	財務常任委員会
24日	議案審議・委員長報告 閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。
※委員会を傍聴する場合には事前に申し出てください。
※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。
※委員会の開催時間を明確にしました。

3月定例会日程

傍聴してみませんか